

愛の山形おきたま 武将隊



愛と義を貫く 出羽の武士 いざ出陣



活動内容・活動拠点のご案内

パフォーマンス

土・日・祝日は午前・午後の2回「戦国の杜」内または「伝国の杜」前広場で演武を披露します。ただし、イベントに出張することが多いので、必ず「戦国の杜 STAFF ブログ」かお電話で御確認ください。

※ブログでは、スケジュールだけでなく活動報告や隊員日記も紹介します。

戦国の杜

検索



戦国の杜

平日は会える?

「伝国の杜」周辺や JR 米沢駅での“おもてなし”のほか、「戦国の杜」での甲冑着用体験(兼続・慶次・義光)を不定期に行います。なお、「戦国の杜」は水曜が閉館日(祝日の場合は開館)です。

イベントへの 出演依頼などは?

山形おきたま観光協議会
TEL.0238-26-6046 (県置賜総合支庁観光振興室) へどうぞ。



伝国の杜

“居城”戦国の杜

CG で武将気分満喫の「戦国なりきりの陣」や、「戦国ショップ 義風堂」など4ゾーンで楽しめる! 米沢市中央 1-9-20 TEL.0238-24-1100

愛の山形おきたま 武将隊

米沢市など山形県南部の置賜（おきたま）地域には、上杉家をはじめ戦国武将ゆかりの見どころが満載。その魅力を存分に発信しようと2010年7月に結成されたのが「山形おきたま【愛】の武将隊」だ。

2009年のNHK大河ドラマ「天地人」で一躍名を轟かせた、上杉の智将・直江兼続。その親友で漫画「花の慶次」でも人気の、傾奇（かぶき）者・前田慶次。史実では敵対関係にあった初代山形藩主、虎将・最上義光とも手を組み、足軽・勘兵衛に、はな姫を加えた5人が、おきたま・山形の観光PRやお客様のおもてなしに、いざ出陣！



天下御免の傾奇者

前田慶次



上杉の智将

直江兼続



出羽の虎将

最上義光

【まえだ・けいじ】前田利久の養子となり、後に暮らした京で兼続と出会い、景勝・兼続の主従関係にほれ込み上杉家に仕官した。長谷堂合戦では、撤退を余儀なくされた上杉軍のため殿（しんがり）をつとめた。

【なおえ・かねつぐ】米沢藩初代藩主上杉景勝を支えた文武兼備の知将。「関ヶ原の戦い」後、米沢城下を整備。現在の米沢の基盤を築き、直江石堤など今でも偉業が見てとれる。幾度もの上洛が兼続を文人として開花させ、藩士のための学問所「禪林文庫」を開くに至った。

【もがみ・よしあき】出羽国・最上氏第十一代当主であり山形藩初代藩主。出羽の虎将と呼ばれ武勇・知略共に優れた将である。長谷堂合戦では天下の知将「直江兼続」に自刃を覚悟させるほどの猛の追攻をみせ、天下統一後は山形五十七万石を領し山形の礎を築いた。

直江兼続



春日山林泉寺

長尾家の菩提寺として越後春日山城から上杉家の移封に伴い会津・米沢に移転。境内には米沢藩主の奥方・子女や重臣の墓も多く、特に兼続・お船夫妻の墓がある。

愛の武将隊
ゆかりの地



長谷堂城址

山形城西方の支城で堅守を誇った山城。長谷堂合戦の際には、最上家の智将・志村伊豆守光安が守将を務め、兼続率いる上杉軍に包囲されるも頑強に抵抗。兼続は撤退を余儀なくされ、追撃に出た最上勢との激戦となった。



上杉神社

上杉謙信を祭神とし、本丸跡に建てられた社殿は米沢出身の建築家伊東忠太の設計。敷地内には謙信像や鷹山像、石碑も残っている。隣接の国登録文化財「稽照殿」には、兼続所用「愛」前立の兜も所蔵されている。

前田慶次 最上義光



堂森善光寺

米沢城郊外・堂森で晩年を過ごしたとされる慶次。月見を催したという山の麓の境内に供養塔が建つ。なお、市内の宮坂考古館、川西町の惣持巧芸館には、慶次所用と伝わる甲冑が所蔵されている。



最上義光歴史館

戦国武将最上義光の功績を顕彰する施設として平成元年に開設。最上家及び義光に関する資料や、兼続直属の部隊の旗といわれている「雁金の軍旗」ほか、長谷堂合戦の資料を所蔵。



はな姫

勘兵衛

【はなひめ】愛の武将隊の紅一点、はな姫。足軽・勘兵衛とお客様のおもてなしを担う。軽快なお話としなやかな演武が持ち味。おきたまエリアにある数多くの花公園のPR役も担う。

【かんべえ】とほけた口調で、愛の武将隊の盛り上げ役を担う足軽・勘兵衛。山形おきたまを知り尽くした彼の知識や、はな姫との軽妙な掛け合いが見もの。